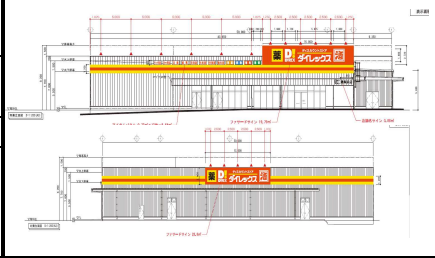


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイレックス湯梨浜店	階数	地上1F
建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2019年4月23日
敷地面積	5,907㎡	作成者	池辺 悟
建築面積	2,249㎡	確認日	2019年4月23日
延床面積	2,136㎡	確認者	下田 誠



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.4**

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	2.0
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

**Q2 のスコア = 3.1**

項目	スコア
機能性	3.2
耐用性	2.9
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

**Q3 のスコア = 1.7**

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.0

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

項目	スコア
建物外皮の	3.4
自然エネ	3.0
設備システ	4.8
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

**LR2 のスコア = 3.0**

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	2.6
汚染物質	4.0

#### LR3 敷地外環境

**LR3 のスコア = 3.4**

項目	スコア
地球温暖化	4.0
地域環境	3.1
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 不特定多数の人が訪れることが想定されるため、安全で利用しやすい計画とした。	<b>その他</b> 工事中は分別仕分け作業を行った。また、敷地外清掃活動を行い、工事現場周辺の美化に努めた。	
<b>Q1 室内環境</b> 建築材料については、ほぼ全面的にF☆☆☆☆のものを使用し、汚染物質の発生を抑制している。また、建物内については禁煙とし、非喫煙者が煙にさらされないようにした。	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリー法の要件を満たす建物とした。また、売場の天井高を3.95mとし、圧迫感のない空間とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 景観条例に基づく緑地を確保した。
<b>LR1 エネルギー</b> LDE照明の採用により、モデル建物法によるBEIm値の低減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の衛生器具を使用し、水資源の保護に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 利用者が多く見込まれることから、近隣の交通負荷の抑制として敷地内に十分な駐車場及び駐輪場を確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される